様式２

主任技術者兼務届出書

平成　　年　　月　　日

国立大学法人大阪大学

契約権限者殿

住所

商号又は名称

代表者氏名　　　　　　　　　　印

下記のとおり、同一の主任技術者に工事を兼務させたいので届け出ます。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 主任技術者氏名 |  |
| 新たに配置する工事 | 専任・非専任の区分 | 　専任　　非専任　※どちらかに○をつける |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 工事期間 | 　　　　年　　月　　日～　　　　年　　月　　日 |
| 主任技術者予定者 | ※現時点の予定者 |
| 発注機関 | ※公告等に記載してあるもの |
| 既に配置している工事 | 専任・非専任の区分 | 　専任　　非専任　※どちらかに○をつける |
| 工事名 |  |
| 工事場所 |  |
| 請負代金額（税込） |  |
| 工事期間 | 　　　　年　　月　　日～　　　　年　　月　　日 |
| 主任技術者 | ※現時点の予定者 |
| 発注機関、担当課 | ※公告等に記載してあるもの |
| 発注機関連絡先 |  |
| 兼務場所　　　　　　　　距離　　　.　　km（直線距離） |

注（１） 本届出書は、各工事の入札参加申請の提出期限までに提出すること。

（２） 本届出書を提出する工事は、主任技術者が「専任する工事━専任する工事」及び

「専任する工事━非専任の工事」の場合のみです。「非専任の工事━非専任の工事」

 は提出不要です。

（３） 既に配置している工事の発注者に、兼務することについて承諾を得ること。

（４） 本届出書の提出の際に既に配置している工事の契約書（写）を提出すること。

（５） 兼務場所欄には地図を貼付するとともに、既に配置している工事と新たに配置する工事の場所を記載し直線距離を明記すること。別紙でも可。

（６） 既に配置している工事と新たに配置する工事が同団地である場合の地図は不要であり、枠内に「同団地における兼務」と記載すること。

（７） 本届出書を提出し発注者が確認をした後に、既に配置している工事の発注者に対

　　　 して本届出書の写しを提出すること。

（８） 発注者及び工事現場間の連絡がとれる体制を別紙様式３に記載し提出すること。

（９） 兼務を解除する場合は別紙様式５により兼務解除届書を提出すること。